

屋外電波測定に最適

携帯型アナライザ発売

クロス
マイク

マイクロナクス(東京都

八王子市小比企町2987

の2、田仲克彰社長、04

26・37・3667)は、屋外での電波測定に最適な携帯型3・3ギガヘルズペ

クトラムアナライ

ザー「MSA33

8 II 写真」を開

発、発売した。測

定機の重量を従来

の約10分の1の1

・7キログラムと小型・

軽量化し手軽に使



える。無線LANなどの設

置環境を屋外で測定する二

ーズが増えたことに対応し

た。価格は39万8000

円。初年度、国内外合わせ

て3000台以上の販売を

見込む。

新製品は測定周波数帯域

が100キヘルズ3・3ギヘル

で、W-CDMA、CDM

A、PDC、PHS、GS

M、2・4ギヘルズ無線LA

N、ブルートゥースなどの

周波数帯に対応。付属のパ

ッケージで使用で最大100

分の連続使用可能。3・3

ギヘルズ帯域内の中心周波数に

合わせ最適基準レベルに自

動的に設定する機能も搭載

している。従来、屋外で空

きチャンネル測定や設置環

境の無線測定を行う場合、

大型のスペアナを持ち出し

て測定していたため手間が

かかり、作業効率が悪かつ

た。価格も100万円以上

と高かった。

同社は今後1・8ギヘルズと

6・6ギヘルズのスぺアナ製品

を順次市場投入し、ライン

アップを強化する考え。